

秋田市立中通小学校「林業体験学習」

実施協力団体：公益社団法人 秋田県緑化推進委員会、秋田県森の案内人協議会

9月26日に、秋田市立中通小学校5年生39名を対象とした「林業体験学習」を実施しました。この取組は、平成6年度より継続して行っており、32回目となる令和7年度は、秋田森林管理署管内の国有林で下刈り作業を体験しました。その後は、近くの「伏伸の滝（ふのしのたき）」周辺を散策しながら、そこで見られる植物の特徴などを学びました。

下刈り体験

学校を出発してバスでおよそ40分。到着したのは、植栽してから7年目となるスギの造林地です。まずは森林管理署の職員から下刈りの目的や鎌の使い方等を教わり、防蜂網を付けて作業開始！はじめに、スギの苗木に絡みついたツルを手で外していき、その後、下刈り鎌で苗木の周りの草を丁寧に刈り払い、造林地をすっきりと整えていました。長い下刈り鎌を使うのは初めてという児童がほとんどで、最初は恐る恐る手を動かしていましたが、次第に慣れて、終わるころには手際よく作業を進める姿が見られました。

今回の体験を通して、子ども達が木に親しみを持ち、森林を手入れすることの大切さを感じるきっかけになればうれしいです。



森林散策

へそ公園で昼食を取った後は、秋田県森の案内人協議会の皆さまを講師にお迎えし、森林散策を行いました。伏伸の滝の周辺を歩きながら、植物や木の実の名前、生態などについて学んだり、実際に触れて確かめたりしながら、自然を楽しんでいました。川の様子を見ながら水と触れ合う時間も設けていましたが、当日は水量が多く、残念ながら足を浸すことはできませんでした。それでもみんな好奇心いっぱい、手作りの筏舟を流したり、水に手をつけたり、川底の砂をすくったりと、それぞれ思い思いに水辺の時間を楽しんでいました。

自然の中での活動を通して、子ども達の笑顔や発見に立ち会うことができました。皆さん、大変おつかれさまでした(*'ω`*)

